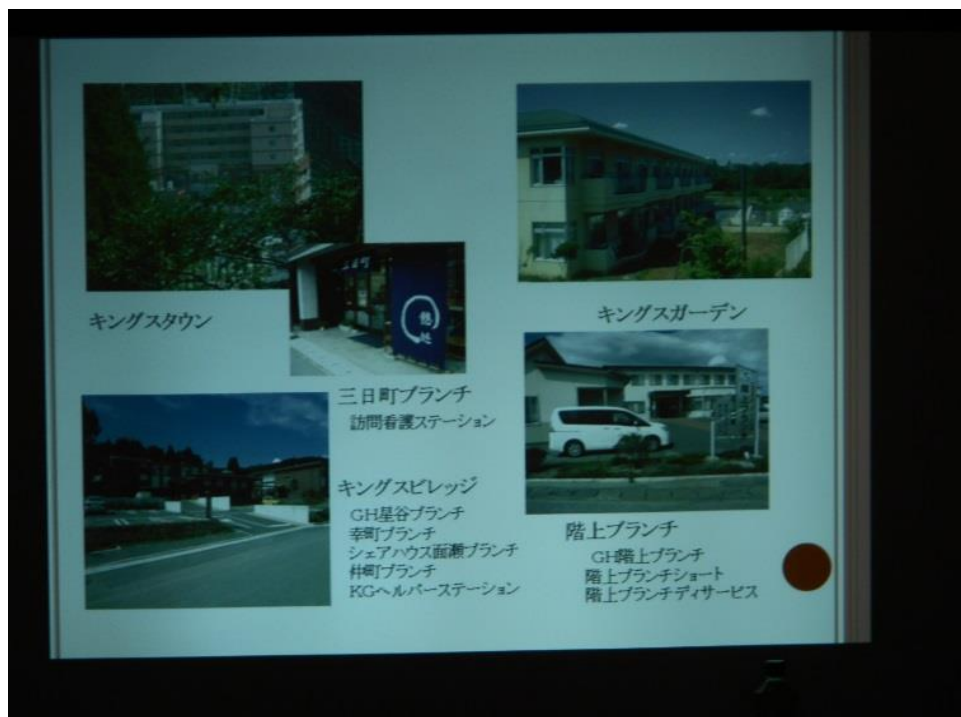


参加者の感想

- 1.地域に根差した事業に勇気づけられた。震災後の方向転換もプラスに転換されていて素晴らしい。地域の方々に愛されているのを感じられた。
- 2.(動画を観て)ご利用者の目がキラキラしていて、たくさんの楽しみがあることがご利用者の表情に表れている。
- 3.就労を開始する予定があり、とても参考になった。掃除に来て下さるホサナのご利用者がいつも優しく接して下さることが嬉しい。

《総括》必要なスキルはそれぞれ異なるが、根は同じで、アクティビティが必要であり、そこから社会参加に繋げていくことが大切だと感じた。



第2分科会・・・ 魅力あるデイサービス ～地域支援事業への取り組み～
 (常総ふれあいの杜多目的ホール東)

- ・東中野KG 遠山香織、田中彰 「支え・支えられる関係作りを目指して！」
- ・ひこうせん 川下アイ子 「誕生から、今、そしてこれから」
- ・筑波KG 清水卓也 「笑顔の集まる場所」
- ・草加KG 長野百合子 「介護予防の総合支援事業～サロンの運営～」

書記・発表：白倉壮彦（常総ふれあいの杜）

事例発表	<p>1. 東中野KG 遠山香織、田中彰 「支え・支えられる関係づくりを目指して！」</p> <p>2. ひこうせん 川下アイ子 「誕生から、今、そしてここから」</p> <p>3. 筑波KG 清水卓也 「笑顔の集まる場所」</p> <p>4. 草加KG 長野百合子 「介護予防の総合支援事業～サロンの運営～」</p>
検討課題	<p>1. 地域との交流について</p> <p>2. サービスの内容について</p> <p>3. 支え合うことについて</p>
課題に対する主な意見	<p>1. 東中野KGや草加KGは、それぞれカフェや交流スペースを設け、ご利用者のみならず地域に暮らす人々とそこで過ごされるご利用者が交流できる取り組みをしている。例えば乳幼児親子の居場所づくり(ベビママサロン-東中野KG)、認知症の方やそのご家族、地域の人が何でも話せる語らいの場(オレンジカフェ-東中野KG)、ボランティア主体で運営する地域交流スペース(OLIVE -草加KG)など。</p> <p>2. 東中野KGでは小規模多機能のサービスに力を入れている。中でも、ご利用者から利用希望の連絡があれば対応できる、いわゆる「随時」という枠があるほか、ご利用者が自宅で過ごしているのと同じように過ごしてもらうという方針から、日中活動などのプログラムのものを設けていないなど、自由度が高い。外出(電車で新宿にフリーマーケットに行くなど)や行事(誕生日会、節分、移動水族館、交流祭など)、ボランティアによるハンドマッサージなども実施している。</p> <p>ひこうせんでは障害のある児童の放課後等デイサービスのプログラムの中に、曜日ごとに体操や音楽活動、個別に宿題・おやつ作りなどの活動を取り入れている。日々の遊びの中に療育を取り入れ、個別に目標を達成できるように取り組んでいる。活動ごとに静の部屋(本を読む、宿題など)と動の部屋(体を動かす活動など)を設け、活動の内容に応じた環境を工夫して設けている。</p> <p>筑波KGのデイサービスでは一人ひとりに合わせたサービス・日中活動を通して身体機能の維持向上に取り組んでいる。編み物、貼り絵、習字など。中でもアロマフットケアは人気が高く、マッサージを受けてそのまま眠ってしまうご利用者もいるくらいである。日中活動では、ご利用者一人一人が目標を掲げ、力を合わせて作品作りに励み、福祉まつりへの出展をしている。個別機能訓練では理学療法士がご利用者個別にリハビリを行うほか、理学療法士が不在の場合でも、ご利用者の為に「継続」して介護職員が個別にリハビリを行う(事前に理学療法士から支持を受けている)。</p> <p>草加KGではボランティア主体で運営する地域交流スペースの中で、お茶のサービスや、特養クラブ活動、お話ボランティアなどのサービス提供をしている。そのほかに、ミニコンサートや認知症のご利用者向けの交流会なども実施している。ボランティア研修会を実施して、活動に必要な知識・技術のレクチャーをし、研鑽を積んでいる。また、シフトはボランティア同士で組んでサービスに取り組んでいるという。</p>